

第8回子育てにやさしい移動に関する協議会
議事概要

日時：令和5年11月22日（水） 14：00～15：30

場所：国土交通省総合政策局AB会議室（オンライン併用）

【議事概要】

＜ベビーカー利用の円滑化について＞

事務局から、ベビーカー利用の円滑化に向けた取組、ベビーカーマーク認知度調査の結果について報告。

○最近は公共交通機関でのアナウンスが、以前よりも減っている。例として、バスでベビーカーを折りたたまずに乗っていた父親が、バスの乗車口付近に立っており、ベビーカーを安全ベルトで固定せずにスマホ見ており、子供を見てなかったのがハラハラした。

そういう場合に、バス運転手のアナウンスが有効ではないか。ベビーカー用固定ベルトがあまり認識されていないのか、固定用ベルトを導入した時期にはアナウンスされていたが、最近は少ない。固定用ベルトが古く、汚れている場合には使用するのを躊躇するかもしれないが、子供の安全のために、アナウンスをするようにしてほしい。

もう一つの例として、2人の子供を連れた女性がバス車内でベビーカーをたたんで、上の子を座席に座らせ、小さいお子さんは手荷物の上に抱えて立っていた。ベビーカーを折りたたむ状況ではなかったが、周囲の乗客に謝りながらベビーカーを折りたたんでいたのが、折りたたむ必要はないことを説明した。状況によっては、バス運転手から折りたたむ必要はない旨のアナウンスがあると良い。

○ご指摘の2つの事例は、どのようにバスに乗ったらよいかということが理解されていないという点が問題。ベビーカー利用者が数年で入れ替わる結果、出てきた事例。毎年継続して啓発していく必要がある。

○資料2の調査結果で、問13の「電車やバスでベビーカーを折りたたまずに利用したのを見たことがある」という人は80%、問10のベビーカーマークを知っている方（「見たことがあり意味まで知っていた」と「見たことはないが、意味は知っていた」の合計）が63%、問5の「電車やバスにベビーカーを折りたたまずに乗ったことがある人」は43%となっており、ベビーカーマークの意味は知っているが実際にベビーカーを折りたたまずに電車やバスに乗っている人は少ないということになる。ベ

ベビーカーを折りたたまずに乗っていいという認識につながっていないように見える。

ベビーカーマークの認知度に加えて、車両内のフリースペースの設置は随分進んでいるが、それでも尚、ベビーカーを置くスペースが少ないことが問題なのか、あるいは別の問題があるのかなど、ベビーカーを折りたたむことを躊躇してしまう原因も調べてもらえると良い。

<子育て移動応援の取り組みについて>

各分野における子育て移動応援の取組について、各構成員・オブザーバー（JR東日本、JR東海、JR西日本、日本民営鉄道協会、日本地下鉄協会、公営交通事業協会、日本バス協会（事務局代理報告）、日本旅客船協会（事務局代理報告）、認定NPO法人びーのびーの、総務省及び道路局）から取組事例について報告。

○ベビーカー利用者数のデータがあるとよいが、各事業者でデータがあれば、教えていただきたい。

○会社として、情報を把握しているかもしれないが、手元にはデータがない。

○もしデータがあれば、後日でも構わないので、事務局に連絡いただきたい。

○データの取り方にも興味があるので、それも含めて教えていただきたい。

○バスにおいては、ベビーカー利用者や高齢者と車椅子利用者がかち合う場合が見受けられる。

先日のモビリティショーで電動バスが展示されていたが、後部座席までフルフラットで、乗降口も幅が広く、二人乗りのワイド型ベビーカーでも乗れそうなものであった。集中豪雨等で道路が冠水するような場合も、動力機器が車両上部にあることから、安全なものと感じたので、国からの支援をお願いしたい。

<こどもまんなかアクション等の概要説明>

こども家庭庁から、こどもまんなかアクション等の概要について説明。

○こどもまんなかアクションについて、何が真ん中なのか抽象的なので、その辺を分かりやすくアピールしてほしい。

<子育て移動応援に関する今後の取組について>

事務局より、子育て移動応援に関する今後の取組について説明。

＜その他＞

事務局より、ベビーカーマークや子ども用車いす等の認知度向上のための普及啓発について説明を行うとともに、駅や車内等に掲出いただくなど、引き続き、各事業者における継続的な協力を依頼。

また、こども・子育て世帯を含め、多様な利用者に配慮したバリアフリートイレの機能分散推進の取組事例を紹介。

○ベビーカー利用の方のためのトイレの機能分散が進むのは大変望ましい。

また、今年、乳幼児連れやベビーカーを利用している方の公共空間でのトイレ利用について聞いた際に、ベビーカーを利用したまま親自身がトイレに行く場合に、ベビーカーと一緒に入れる一般のトイレが無いと、バリアフリートイレを利用するのは躊躇するという話が印象的だった。親自身がトイレに行きやすい環境の整備が進んでいくと良い。

○最近また、訪日外国人旅行者が増えているが、訪日外国人旅行者の方への案内が不足していると感じており、対策強化の必要性を感じている。

以上